



排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	9986			—	—
検証結果の要約	<p>本検証では、妥当性確認・検証ガイドライン(Ver.2.0)を検証基準として、北秋田市が実施する「北秋田市森林吸収事業 ～生物多様性保全 絶滅危惧種クマゲラのふるさとの森プロジェクト～」のモニタリング報告書がプロジェクト計画書(Ver.1.0)、モニタリング計画書(Ver.1.0)、モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用)(Ver.4.0)及び方法論R001(Ver4.1)に準拠しているかどうかについて確認した。</p> <p>検証の結果、モニタリング報告書(Ver.1.1)は、J-VER制度におけるプロジェクト計画書(Ver.1.0)等に準拠していることを確認した。また、重要性は、検出された誤りが全て修正されたことで、量的基準(吸収量の5%以内)を満たしていることを確認した。なお、2008年4月1日～2011年3月31日の3年間における本プロジェクトでの吸収量は9,986t-CO2である。</p> <p>また、本検証は本プロジェクトの第1回目のモニタリングを対象とし、クレジット申請の重複はないことを確認した。</p> <p>従って、本プロジェクトのモニタリング報告書(Ver.1.1)は無限定適正である。以上により、本プロジェクトの本モニタリング期間におけるクレジット認証依頼をオフセット・クレジット(J-VER)認証運営委員会へ申請することを推奨する。</p>					

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。